

水見 漁村の暮らしを体験してもらい交流人口の増加を目指す県と水見市の「とやま帰農塾『灘浦塾』」は28日、同市小境の岩風呂民宿小境荘などで始まり、県内外の5組11人が、農作業や魚さばき体験を通じて住民らと交流した。

委託を受けたNPO法人グリーンツーリズムとやまが運営しており18年目。新型コロナウイルスの影響で一昨年は中止し、昨年はリモートで開催した。

住んでミタ

灘浦塾

住民と一緒に魚さばき

県内外11人 漁村の魅力を体験



角間塾長(左)のアドバイスを受け、魚をさばく参加者たち

中止し、昨年はリモートで開催した。この日は東京都や埼玉県からも参加があり、塾長を



息の合った動きを見せる園児たち

舞を奉納する愛鉄町獅子方若連中メンバー



「いっしょ」「二足」を練り上げた。石動地区の獅子舞は、加賀藩主前田利家のおい・利秀が今石動城主として入城したのを、住民が歓迎のために披露したのが始まりとされる。観音寺では、利秀が寄進した菅原道真の掛け軸を祭っている。29日も1町が奉納する。

スポ少に防具贈り
38年の活動終える
井波高剣道部OB会

南砺市南砺市井波高校剣道部OB会が28日解散し、38年の活動に幕を閉じた。後進の育成に役立てようと、井波剣道スポーツ少年団に防具一式15セットを贈った。

OB会は1984年に発足。99年度には199人が所属した。2011年度に

務める小境荘の角間吉郎社長や地元住民らのアドバイスをを受け、小境荘近くの畑でサツマイモの苗を植えた。サプライズで用意されたイチゴ狩りも楽しんだ。魚さばき体験では、角間塾長の手さばきを見た後、参加者が包丁を持ちヒラマサ

の刺し身を作った。埼玉県から家族で訪れた岩元清香さん(9)は「苗を植えたのは初めてで、すごく楽しかった。魚をさばくのはちょっと難しい」と話した。参加者は1泊し、29日は魚釣りや水見沖クルージングなどを体験する。

同校が南砺福野高と統合し閉校してから、会員が交流

鮮

高岡 高岡市花と緑の総合展(春)さつき・盆栽展が28日、高岡市佐野の高岡おとぎの森館で始まった。白やピンクに咲き分けたサツキと木々の細部までこだわった盆栽など、

する機会が減っていた。市井波社会体育館で贈呈式を開き、南部正樹会長(62)が「高い目標を持ち、切磋琢磨してほしい」とあいさつ。高岡吉生主将(小学6年)と武部航君(同)に目録などを手渡した。高岡君は「防具を使い、一生懸命稽古したい」と話した。砺波市上中野の旅館「川金」で解散会を開いた。

高岡おとぎの森公園管理事務所長

よしき まさと
古崎 正人さん



まよもにっころ

援。出品者が丹精個性あふれるに。29日まで【webun】高岡盆栽愛症男代表)の会賞点飾りや床の間にしたものな示。色鮮やかな「日光」「赤松ツキや盆栽が並んでいる。訪れた人たちの特徴や木の形をじっくり観賞舟瀬代表は「△て工夫した作点い」と話した。盆栽の即売、北